

[特別展] 始皇帝と大兵馬俑

東京国立博物館 平成館 [上野公園]

2015年10月27日[火]—2016年2月21日[日]

開館時間＝午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

※12月18日までの金曜日、10月31日(土)、11月1日(日)・2日(月)は午後8時閉館

休館日＝月曜日 ※ただし、11月2日(月)、11月23日(月・祝)、1月11日(月・祝)は開館。11月4日(水)、11月

24日(火)、1月12日(火)は休館 ※年末年始 12月24日(木)～2016年1月1日(金・祝)は休館

主催＝東京国立博物館、陝西省文物局、陝西省文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

後援＝中国大使館 協賛＝野崎印刷紙業 協力＝全日本空輸

観覧料(税込)	当日料金	前売料金	団体料金	※団体は20名以上
一般	1,600円	1,400円	1,300円	※障がい者とその介護者1名は無料
大学生	1,200円	1,000円	900円	(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)
高校生	900円	700円	600円	

中学生以下は観覧無料です

お問い合わせ＝03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト＝<http://heibayou.jp/>

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ウェブサイト＝<http://www.tnm.jp/>

日曜
美術館

Eテレ 毎週日曜日 午前9時～午前10時
(再) 翌週日曜日 午後8時～午後9時
※アートシーンは同日再放送



こうどうしゃば
1号銅車馬 (展示は複製)
(原品) 青銅製・彩色 秦時代・前3世紀
高さ150.0cm、長さ225.0cm
秦始皇帝陵博物院蔵

このジュニアガイドは、
「特別展 始皇帝と大兵馬俑」の鑑賞の
手引きとして、小学校高学年から中学生までを対象に作成しました。

執筆：東京国立博物館(浅秋 毅・川村 佳男) 制作：東京国立博物館/NHK/NHKプロモーション デザイン：オカダック 写真はすべて©陝西省文物局・陝西省文物交流中心

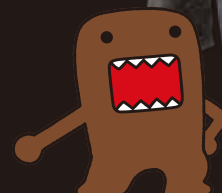
NHK
もっと届け、大切なこと。
公共放送 進化中!

とく べつ てん
特別展

始皇帝と大兵馬俑

ジュニアガイド

すごい軍団が
やってきた!



とう きょう こく りつ はく ぶつ かん へい せい かん
東京国立博物館 平成館

2015年10月27日[火]—2016年2月21日[日]

左から 立射俑 / 歩兵俑 / 將軍俑 / 車吏俑 / 跪射俑 秦時代・前3世紀 秦始皇帝陵博物院蔵



1 秦の人たちもあこがれた アクセサリー

美しい石(玉)や瑪瑙でつくられた胸かざりです。秦の時代よりもずっと昔のものですが、秦の人びともこのようなアクセサリーを身につけていました。

玉・瑪瑙他 西周時代・前10～前9世紀
縦56.0cm 宝鸡市周原博物館蔵

2 北方の人たちと秦の つながりをしめす短剣

秦は北方の草原に生きる人たちとも交流がありました。このようなつながりが、秦を戦国時代で一番の国にした理由のひとつかもしれません。



短剣・玉製 鞘:金製 春秋時代・前8～前7世紀
剣:長さ29.0cm 鞘:長さ18.7cm
韓城市梁帯村古墓葬群文物保護管理所蔵

3 兵馬俑の先祖?

始皇帝陵から発見された兵馬俑はとてもリアルなものですが、その100年ほど前のお墓に入れられていたのは、このような素朴なものでした。



騎馬俑
陶製・彩色 戦国時代・前4～前3世紀
高さ22.0cm・長さ18.4cm
咸陽市文物考古研究所蔵

「秦」とは

今からおよそ2800年前から2200年前の中国では、多くの国があらそう時代が続きました。これを「春秋・戦国時代」とよびます。このなかで秦は、はじめは西の小さな国にすぎませんでしたが、次第に強力になり7つの大国のひとつとなります。



「始皇帝」とは

始皇帝(名は嬴政・紀元前259年～210年)とは中国で初めて「皇帝」と名のつたことからの呼び名です。父(のちの荘襄王)が敵国である趙の人質だったため、子どもの頃は趙でくらし大変苦労しましたが、13歳で秦の王となつてからは、他国を次々にほろぼし天下を統一しました。

4 2200年以上前にあった 水道のしくみ

日本に今のような水道管がひかれ、うまく水を流すことができるようになったのは、そんなに昔のことではありません。しかし秦では、始皇帝の時代に水道がととのえられていました。



取水口(左)
L字型水道管(左下)
水道管(下)
3点ともに陶製
戦国～秦時代・前3世紀
左:口径61.8～63.0cm
左下:高さ36.0cm 下:長さ60.5cm
秦咸陽宮遺址博物館蔵



両詔權
青銅製 秦時代・前3世紀
高さ9.5cm、重さ7.615kg
秦始皇帝博物院蔵



5 重さや 長さを統一

国々で重さや長さの数え方がちがうと、計算が大変です。始皇帝は国々でちがっていた単位を統一しました。これはその基準となったおもりです。

始皇帝の肖像(参考図版)
秦始皇帝博物院蔵



「兵馬俑」ってなに？

兵士や馬などをほぼ等身大でかたどったやきものの像で、約8000体もの兵馬俑が始皇帝陵の近くに埋められています。1974年にみつきり、20世紀最大の考古学的発見ともいわれます。発掘は現在も続いています。

何をもっていたの？

弩弓という、矢を放つための武器です。ライフル銃のような引き金や木製の台があり、台の先に横むきの弓を取りつけました。



細部にも注目

靴の裏には、なんとすべり止めの凹凸まであらわされています。



跪射俑

陶製 秦時代・前3世紀
高さ122.0cm、幅64.0cm 秦始皇帝博物院蔵

表情に注目

静かにほほ笑む表情からは、思慮深さと自信が伝わってくるほど、とてもリアルにつくられています。

もとはどんな色だった？

兵馬俑にはもともと肌・髪・服など、部分ごとに違う色が塗られていました。将軍俑が着た鎧はちょっと派手な色をしていました。



『真彩秦俑』（秦始皇帝博物院 編、文物出版社、2014年）を参考に作図

将軍俑

陶製 秦時代・前3世紀
高さ195.0cm、幅65.0cm 秦始皇帝博物院蔵

始皇帝陵 — 始皇帝の巨大な墓 —

始皇帝陵は内から順に①巨大な墳丘、②墳丘の周囲に広がる陵園からなります。墳丘は現在でも東西345メートル、南北350メートル、高さ76メートルもあります。始皇帝が眠る地下宮殿は墳丘の地下に、兵馬俑を埋めた巨大な穴は陵園の地下に掘られています。始皇帝が生きているうちからつくられました。



1号兵馬俑坑

秦始皇帝博物院蔵

始皇帝の願った「永遠」

巨大な始皇帝陵は秦の宮殿とみよこ、兵馬俑はそれを守る軍団を写したものと考えられます。これらは、死後の世界でも永遠に支配者であろうとした始皇帝がつくらせたものです。